

株式会社 学研ホールディングス
2016年9月期
第2四半期決算説明会

2016年5月27日

2016年9月期 第2四半期累計業績概要

**株式会社学研ホールディングス
常務取締役 中森 知**

2016年9月期第2四半期累計業績

(百万円)

増収・増益を達成

	‘15年9月期 2Q累計	‘16年9月期 2Q累計	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	49,855	52,721	+2,865	+5.7%
営業利益	1,260	2,689	+1,429	+113.6%
営業利益率	2.5%	5.1%	2.6%	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 755	1,643	+2,398	—

■ 売上高 増加要因

- ・「出版事業」…児童書・学習参考書等の送品増、返品減
- ・「高齢者福祉・子育て支援事業」…サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)および保育施設の新規開業、サ高住入居率向上

■ 営業利益 増加要因

- ・「出版事業」…事業分野の絞り込みによる改善効果(不採算廃止、教育分野、デジタル)

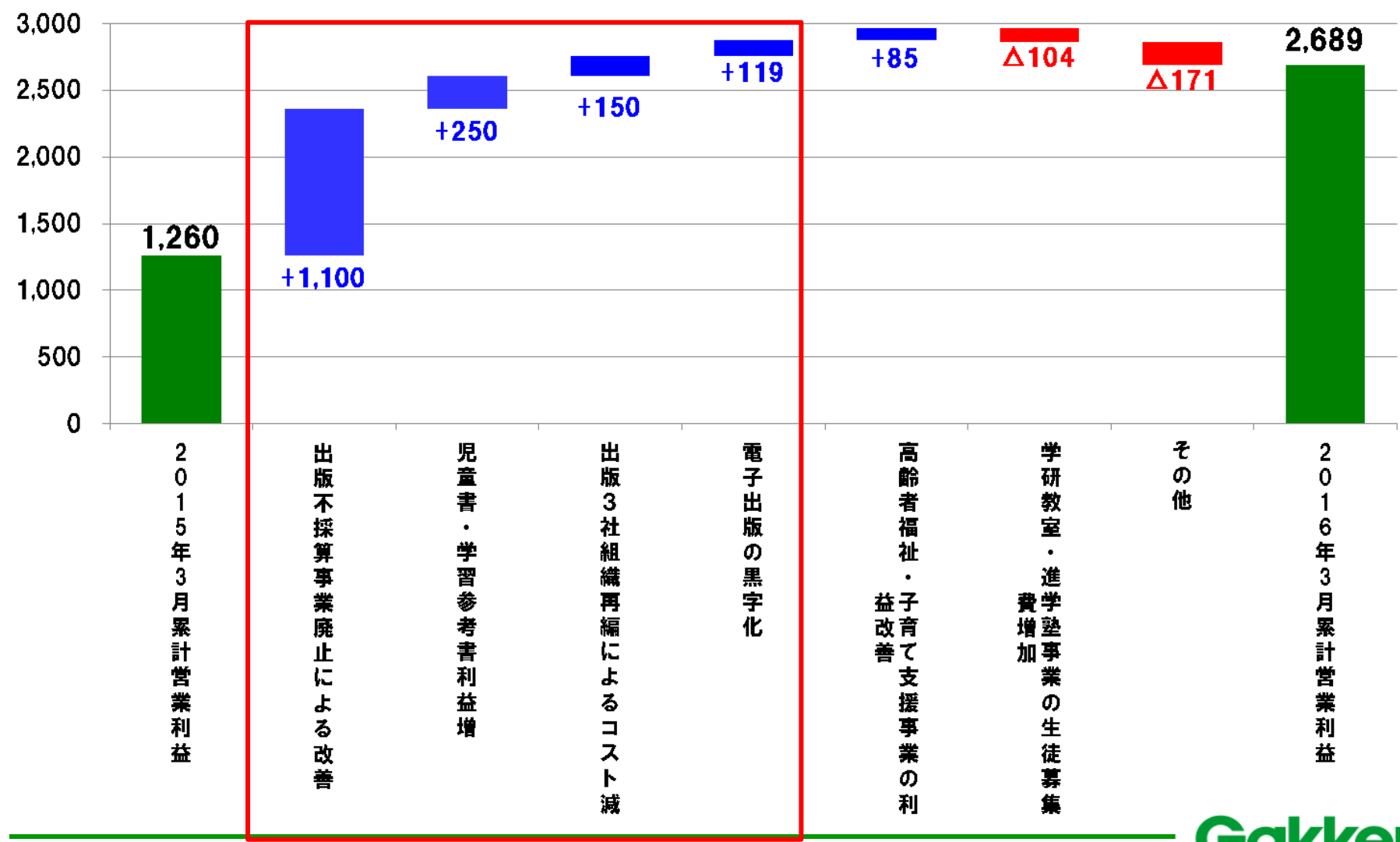
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益 増加要因

- ・特別損失減少(前期2Q出版事業の一部廃止等 10.4億円)

2016年9月期第2四半期累計 営業利益増減要因(前期比)

出版事業の利益改善効果大

(百万円)



連結貸借対照表

(百万円)

売掛債権、買掛債務を中心に資産負債とも増加
四半期純利益計上により純資産増加

	'15/9月末	'16/3月末	増減
流動資産	48,642	54,728	+6,085
固定資産	30,560	30,885	+324
資産合計	79,203	85,614	+6,410
流動負債	23,772	29,905	+6,133
固定負債	20,734	19,950	△784
負債合計	44,506	49,855	+5,349
純資産	34,697	35,758	+1,060
負債・純資産合計	79,203	85,614	+6,410

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

事業の特性上、上期は営業CFがマイナス基調
投資CFのマイナスは高齢者事業の固定資産取得等

	'15年9月期 2Q累計	'16年9月期 2Q累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△608	△971	△363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,235	△1,497	+3,737
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	△5,843	△2,468	+3,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,239	1,527	△1,711
現金・現金同等物増減額	△2,521	△949	+1,572
現金・現金同等物四半期末残高	12,868	15,462	+2,593

2016年9月期第2四半期累計 セグメント別業績 (百万円)

出版事業で増収・増益

高齢者福祉・子育て支援事業で増収

セグメント名	項目	‘15年9月期 2Q累計	‘16年9月期 2Q累計	前期比 増減額	前期比 増減率	
教育ソリューション事業	売上高	39,517	40,850	+1,332	+3.4%	
	営業利益	1,381	2,917	+1,535	+111.1%	
	教室・塾事業	売上高	13,948	13,848	△100	△0.7%
		営業利益	987	883	△104	△10.6%
	出版事業	売上高	15,974	17,352	+1,378	+8.6%
		営業利益	△ 281	1,351	+1,633	—
	園・学校事業	売上高	9,594	9,649	+55	+0.6%
		営業利益	676	683	+6	+1.0%
	高齢者福祉・ 子育て支援事業	売上高	6,872	8,048	+1,176	+17.1%
		営業利益	△ 132	△ 47	+85	—
その他	売上高	3,466	3,823	+356	+10.3%	
	営業利益	10	△ 139	△149	—	

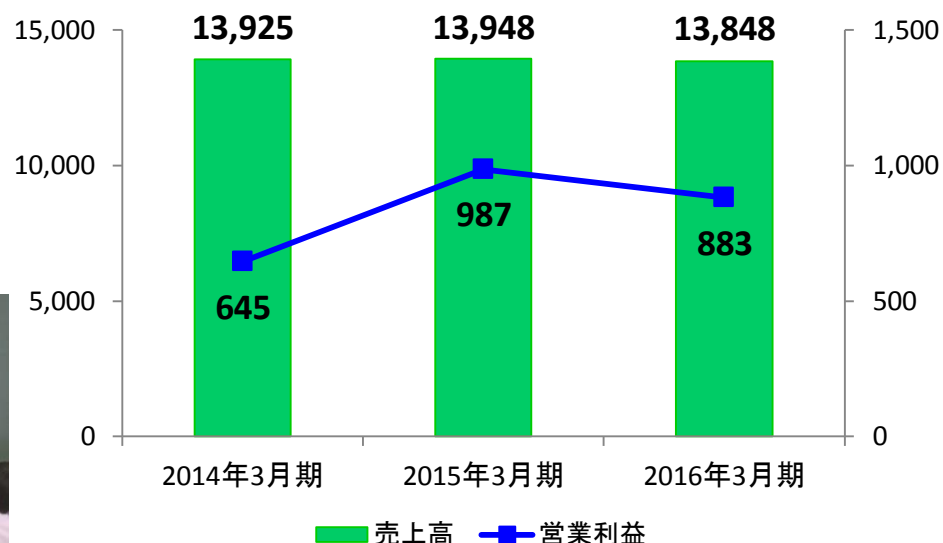
セグメント別業績 ①教室・塾事業

(百万円)

進学塾全体で生徒数が減少

●事業概要

- ・幼児から中学生(主に小学生)を対象とした学研教室の運営
- ・幼児から高校生を対象とした進学塾の運営



●2016年9月期第2四半期累計 前期比増減要因

〔売上高〕

1. 学研教室事業

- ・期中生徒数の小幅減少

2. 進学塾事業

- ・集団指導コースの生徒数減少

〔営業利益〕

- ・新学期生徒募集費の増加

- ・売上減による利益減
- ・生徒募集費等の増加

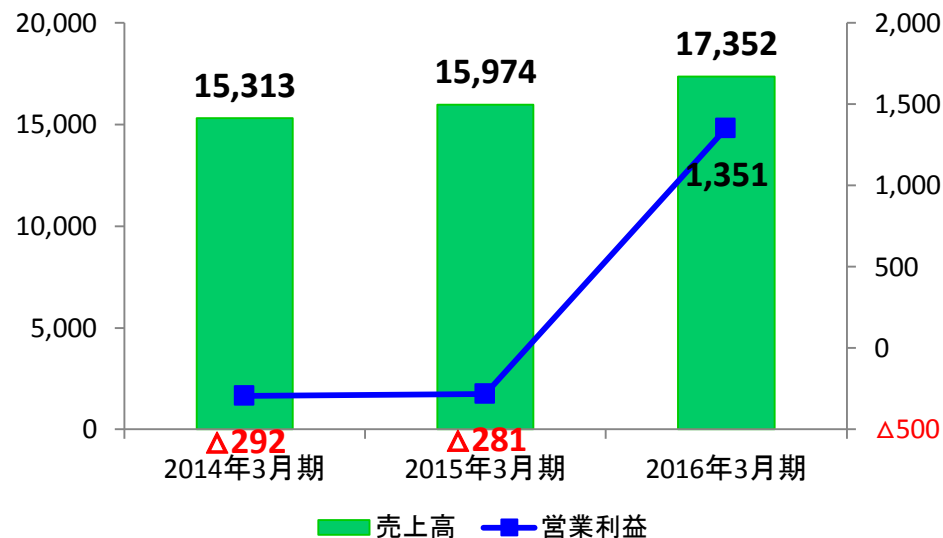
セグメント別業績 ②出版事業

(百万円)

事業分野の絞込みにより業績回復

●事業概要

- ・取次・書店ルートにおける児童書、学習参考書、大人の学び等出版物、看護書、医学書の発行・販売
- ・出版と連動したデジタルコンテンツの開発・販売等



●2016年9月期第2四半期累計 前期比増減要因

〔売上高〕

1. 出版事業

<幼児・児童>

- ・幼児知育分野好調

<小中学生>

- ・小中学生向け学習参考書好調
- ・(株)文理の業績加算(前期は2Qより連結)

<不採算分野>

- ・前期2Q文庫、歴史関係等廃止に伴う返品減少

2. 電子出版事業

- ・電子書籍・雑誌のコンテンツ配信

〔営業利益〕

- ・既刊比率増加による原価低減

- ・既刊比率増加による原価低減

- ・事業廃止に伴う改善

- ・黒字化

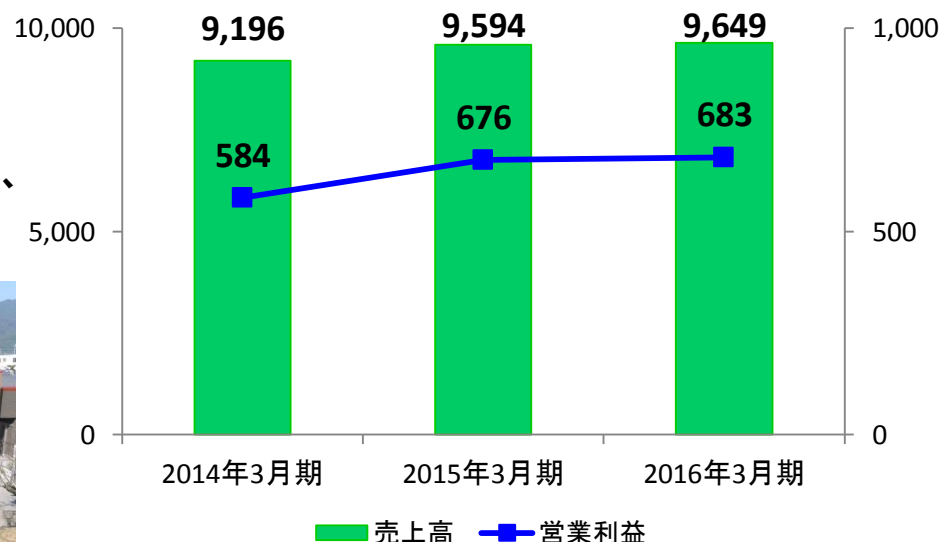
セグメント別業績 ③園・学校事業

(百万円)

待機児童解消加速化プランによる追い風

●事業概要

- ・幼稚園・保育園向け事業: 出版物や保育用品、備品、園服等の制作・販売。幼児児童向け教室事業。
- ・小・中学校向け事業: 教科書、教科書指導書、副読本、特別支援教材や体力テスト等の制作・販売



●2016年9月期第2四半期累計 前期比増減要因

〔売上高〕

1. 幼稚園・保育園向け事業

- ・備品、遊具、園舎設計の増加
- ・年中年長児向け教室事業の会員増

2. 小・中学校向け事業

- ・中学校保健体育教科書・指導書の納入
(小学校保健指導書との納入数差)

〔営業利益〕

- ・左記の売上増
- ・園児用月刊絵本の原価削減
- ・左記の売上減

セグメント別業績 ④高齢者福祉・子育て支援事業 (百万円)

引き続き事業規模拡大

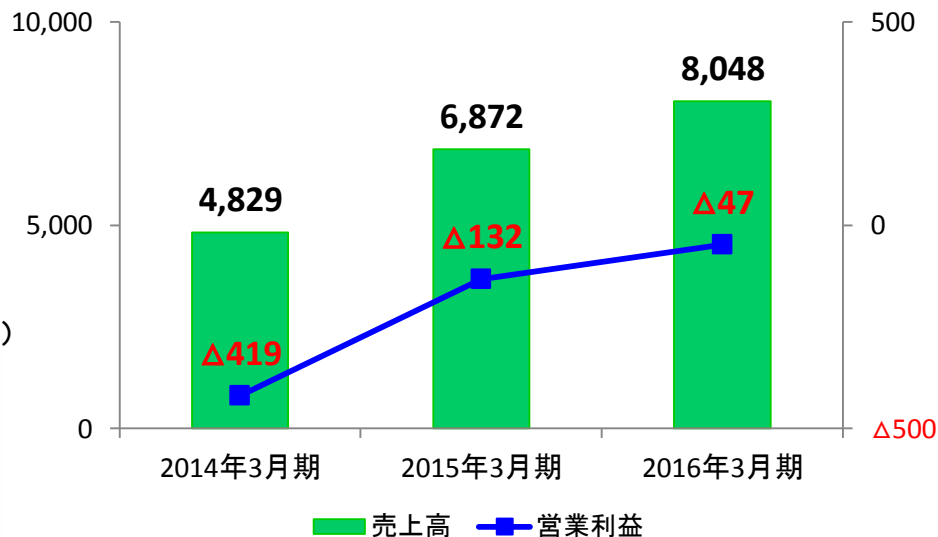
●事業概要

- ・高齢者向け在宅介護サービス拠点など、各種サービスの企画・開発・運営
- ・保育園・こども園などの子育て支援事業の企画・開発・運営

ココファン金沢鞍月(石川県)



ココファン・ナースリー浦和(埼玉県)



●2016年9月期第2四半期累計 前期比増減要因

〔売上高〕

1. 高齢者福祉事業

<首都圏>

- ・入居率向上、サ高住の4事業所開設

<西日本>

- ・大阪入居数増加、2事業所開設

2. 子育て支援事業

- ・首都圏で昨年4月10園開園

〔営業利益〕

- ・左記の売上増

- ・事業所運営コスト増加

- ・新規開園による増収

- ・保育士の採用コスト増加

2016年9月期業績見通し

株式会社学研ホールディングス
代表取締役社長 宮原 博昭

2ヵ年計画「Gakken2016」進捗状況

出版事業の 選択と集中

- 不採算事業の廃止により、業績改善
- 児童書のシェアアップにより業界No.1へ
- 学習参考書は業界No.1の座を確立

新しい教育 サービスの 開発

- ICT:学研ゼミ(家庭向け学習クラウドサービス)の開発
- 電子出版:児童書タイトルの電子化促進
- 海外:シンガポール現法を拠点にASEAN展開加速

高齢者福祉・ 子育て支援 事業の展開

- サ高住・保育園の新規開設計画通りに進捗
- サ高住大阪の入居率改善に課題
- 保育士の人材確保が課題

2016年9月期 業績見通し

(百万円)

2015年11月13日発表から変更なし

	‘15年9月期	‘16年9月期		前期比 増減額	前期比 増減率
		2ヵ年計画 「Gakken2016」	見通し		
売上高	95,945	96,000	97,000	+1,055	+1.1%
営業利益	1,599	2,600	2,600	+1,001	+62.6%
営業利益率	1.7%	2.7%	2.7%	+1.0%	—
親会社株主に帰 属する当期純利益	265	—	1,300	+1,035	+390.6%

2016年9月期 セグメント別業績見通し

(百万円)

セグメントごとに検討した結果、グループ全体の業績見通しは据え置き

セグメント名	項目	'15年11月25日 業績見通し	'16年5月27日 業績見通し	前回比 増減額	差異要因
教育ソリューション事業	売上高	72,000	72,500	+500	—
	営業利益	2,150	2,350	+200	—
	教室・塾事業	売上高	27,500	△500	集団指導生徒数減 熊本地震の影響
		営業利益	1,500	△200	
	出版事業	売上高	28,000	+1,000	上期業績の改善 下期は送品減 在庫処分増
		営業利益	200	+400	
	園・学校事業	売上高	16,500	+0	—
		営業利益	450	+0	—
	高齢者福祉・ 子育て支援事業	売上高	17,000	△500	サ高住大阪入居率の遅れ
		営業利益	400	△100	
その他(調整額含)	売上高	8,000	8,000	+0	—
	営業利益	50	△ 50	△100	—
合計	売上高	97,000	97,000	+0	
	営業利益	2,600	2,600	+0	

期末に向けての取り組み ①教室・塾事業

(百万円)

■ 学研教室事業

- 月謝改訂 2016年4月～

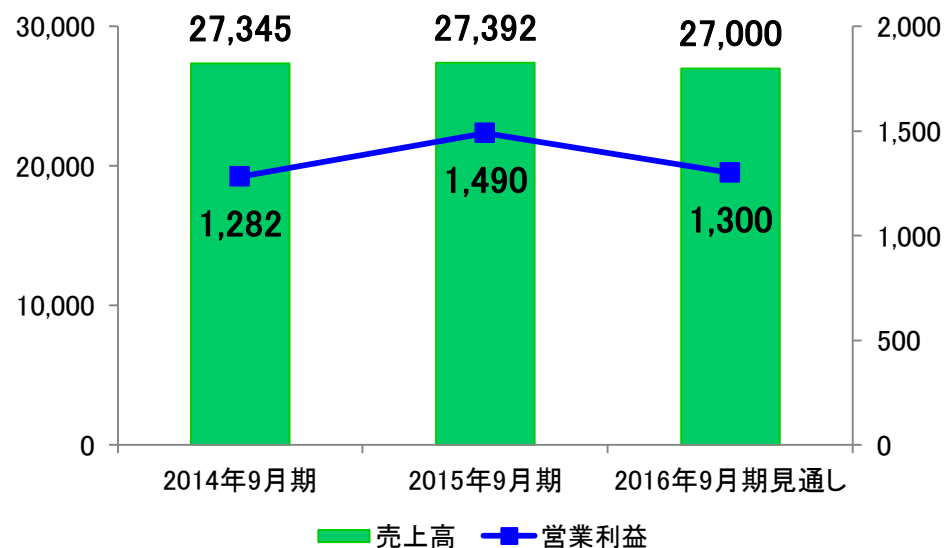
例：算国7,620円→8,000円(+税)

国語デジタル解説、幼児デジタル補完教材等(全会員無料)

- 中学理社コースの新設
- 教室数拡大

■ 進学塾事業

- グループ内進学塾の経営統合
- 夏期講習募集促進の強化



期末に向けての取り組み ②出版事業

(百万円)

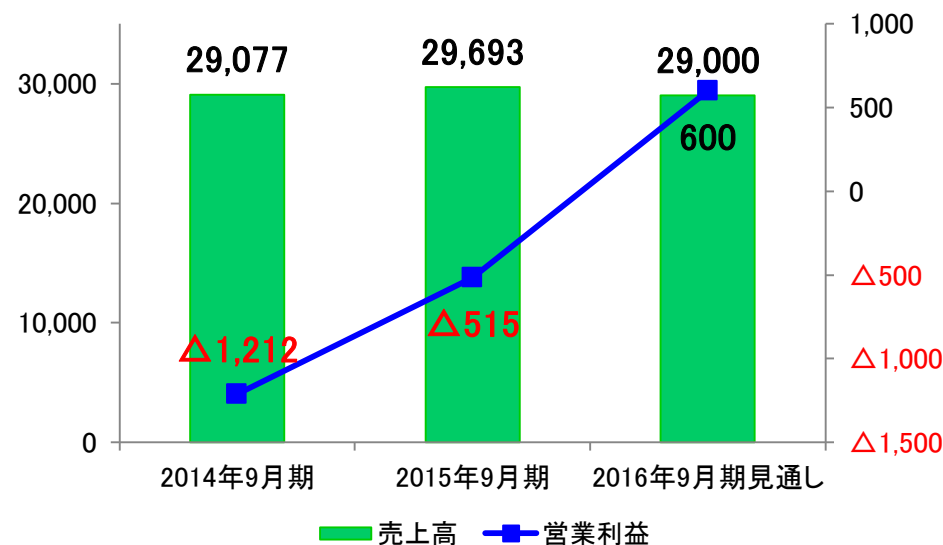
■ 出版事業

<幼児・児童>

- 児童・ファミリー キャラクター児童書新刊
- 図鑑・百科 図鑑LIVEシリーズ、まんが世界・日本の歴史拡売

<小中学生>

- 小中学参 新ジャンルの商品開発
(ボカロ学参)
- 文理 塾向け夏期講習
テキスト拡売



期末に向けての取り組み ②出版事業

■ 出版PLUS事業

- 学び受託事業(ひみつシリーズ)の全国自治体への営業拡大
- 通販、アニメ物販の販路・商品ラインナップ拡充
- 映像講義事業の夏期講座配信スタート



■ 電子出版事業

- 他社電子書籍ストアと連携強化、新規販売チャネルの拡大
- 児童書・学習参考書等の電子化促進

期末に向けての取り組み ③園・学校事業

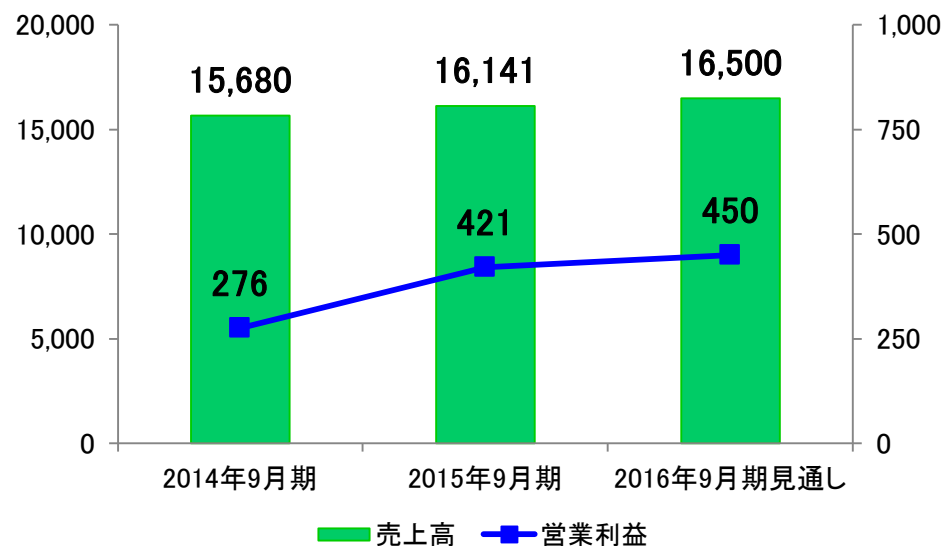
(百万円)

■ 幼児園・保育園向け事業

- 新設園へ備品・遊具の営業促進強化
- 幼児用ICT教材の新機能追加による拡販
- 教室事業の新規園開拓

■ 小・中学校向け事業

- 道徳教科書発行に向けた編集本格化



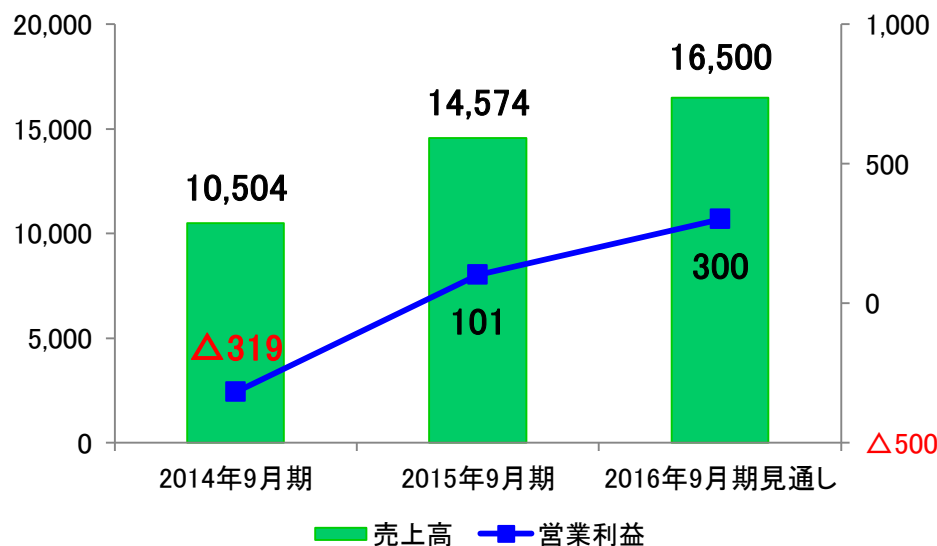
期末に向けての取り組み ④ 高齢者福祉・子育て支援事業 (百万円)

■ 高齢者福祉事業

- 首都圏課題事業所の入居底上げ
- 西日本の入居スピードアップ

■ 子育て支援事業

- 保育士の確保
処遇改善と専門学校との連携
- 園の管理体制強化
ブロック制によるサービス品質
の標準化



グループ理念

私たち学研グループは
すべての人が心ゆたかに生きることを願い
今日の感動・満足・安心と
明日への夢・希望を
提供します